

＜コロナ禍での中学入学に関する意識調査＞

コロナ禍での中学入学に、小 6 生の 7 割が「不安を感じる」と回答 「授業」「テスト」「友だち作り」の中 1 ギャップ不安が表出

中学生活でつまづかないための「絶対基礎力」が身につく、中学入学の不安を自信に変える
進研ゼミ『中学準備講座』の中学準備応援サイト（無料）、9 月 1 日スタート

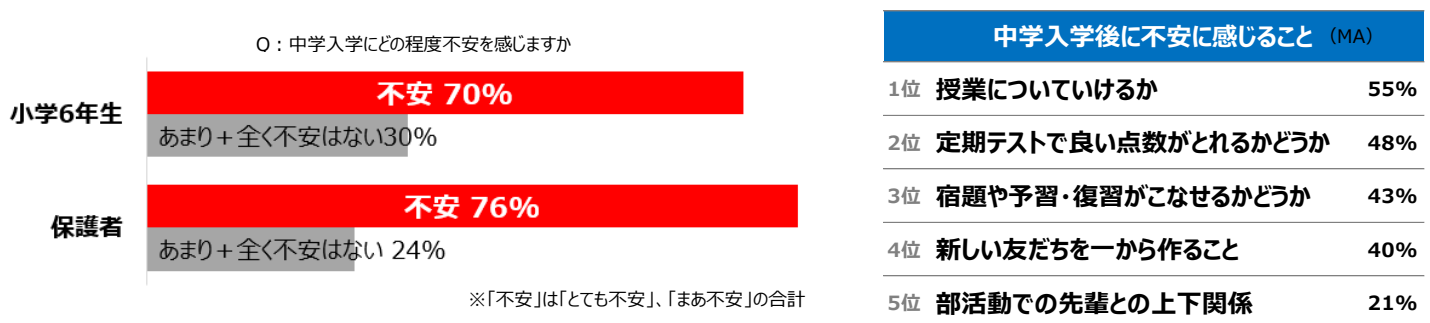
株式会社ベネッセコーポレーション（本社：岡山市、代表取締役社長：小林仁、以下：ベネッセ）は、全国の小学 6 年生と中学 1 年生を対象に「コロナ禍での中学入学に関する意識調査」を実施いたしました。その結果、来春に入学を控える小学 6 年生、この春に入学した中学 1 年生ともに、中学入学後の生活・学習面での変化にうまく適応できないこと、いわゆる「中 1 ギャップ」に関して、コロナ禍ならではの不安を感じていることがわかりました。

このような背景を踏まえ、進研ゼミ『中学準備講座』では、中学入学後の生活・学習でつまづかないために、入学までに必ずそなえておくべき「絶対基礎力」をつける講座としてリニューアルし、9 月 1 日より早期入会の受付を開始します。また、コロナ禍での中学入学後の生活・学習面での不安を少しでも軽減すべく、中学準備応援サイト（無料）を 9 月 1 日より公開することをお知らせいたします。

■ 調査結果サマリ：「コロナ禍での中学入学に関する意識調査」

小学 6 年生・保護者の 7 割が「不安を感じる」と回答。コロナ禍ならではの「中 1 ギャップ」不安が表出

中学入学への不安意識は全国の小学 6 年生の親子の間で広がっています。中学入学後の生活・学習面の変化に戸惑い、うまく適応できないことを表す「中 1 ギャップ」は例年起こりますが、今年は特にコロナ禍による小学校での学習不足により中学の授業やテストについていけないかの不安や、マスク生活の中で友だち作りができるか心配する声が特徴としてあがりました。



【小学 6 年生 親子の声】

- また休校になってしまったら勉強についていけない。高校受験に影響が出るのではないかと（小 6・親）
- 新型コロナウイルスが終息するかしないか不明な中で、中学という短い 3 年間で終わってしまうのがとても心配（小 6・親）
- 中学校との交流も無くなってしまった。様子を知るチャンスがなくなったから不安（小 6・子）
- 新型コロナウイルスに感染したら 2 週間位休まないといけなから、中学の授業についていけないのか不安（小 6・子）
- マスクをつけているので、友だちの顔をなかなか覚えられなさそう（小 6・子）

中学 1 年生が感じた「中 1 ギャップ」は「テスト勉強」が最多。小学校での基礎・基本に学び残し

コロナ禍の中、この春に入学した中学 1 年生が実際に感じた「中 1 ギャップ」は、「テスト」や「授業」など学習面に関する課題が最も多くありました。小学校時代に「もっと学んでおけばよかった」と感じる項目は「英単語を覚えておくこと」「算数で計算をミスなくできるようにしておくこと」「小学校範囲の漢字を覚えておくこと」となっており、基礎・基本に関する項目が上位に。小学校時代から続くコロナ禍での学習遅れや基礎・基本の習得不足が定期テスト勉強への困りに繋がっていることがうかがえます。

中学入学後に感じた「違い・ギャップ」(MA)

1位 定期テスト勉強が難しい	62%
2位 定期テストで上位の成績をとること	51%
3位 授業内容が難しい	49%
4位 部活と勉強の両立	48%
5位 予習・復習が大変	43%

Q：小学 6 年生のうちにもっと学んでおけばよかったと思うことは何ですか (MA)

英単語をできるだけ覚えておくこと	38%
英語を書いたり、読んだりできるようにしておくこと	26%
英語を話したり、聞いたりすることに慣れておくこと	24%
算数で計算をミスなくできるようにしておくこと	31%
算数の文章題を解けるようにしておくこと	26%
算数の図形問題を解けるようにしておくこと	23%
小学校範囲の漢字を覚えておくこと	24%
国語の読解問題を解けるようにしておくこと	20%

【中学 1 年生 親子の声】

- 授業時間が短縮されたり、進むスピードが速いので追いつくのに大変だった (中 1・子)
- 放課後、友だちと一緒に勉強できないので、わからないところを聞けない (中 1・子)
- いつ緊急事態宣言で休校になるかわからず授業ペースが速く、予復習、宿題をこなすのが精一杯 (中 1・親)
- コロナ禍で中間テストが中止となり、はじめての定期テストが期末テストで、いきなり 9 教科の勉強に悩んだ (中 1・親)

調査期間： 21 年 8 月 13 日～8 月 17 日

対象：小学 6 年生・中学 1 年生のお子さまがいる全国 47 都道府県在住の約 400 世帯／方法：インターネットアンケート

■「中 1 ギャップ」でつまづかない「絶対基礎力」がつく 進研ゼミ『中学準備講座』、入会受付開始

今年度の進研ゼミ『中学準備講座』では、コロナ禍の中での「中 1 ギャップ」による生活・学習面でのつまづきを予防し、中学の授業・定期テストで好スタートをきるための「絶対基礎力」をつける内容にリニューアルして 1 月号 (12 月 25 日教材配信) より開講いたします。コロナ禍で不安が高まる「友だち作り」「部活」などの中学生生活面についても、先輩中学生との情報交換などで心の準備からサポートします。

早期入会の受付は 9 月 1 日より開始。早期入会の受付期間内にご入会いただいた方には、「絶対基礎力」を 2 学期からしっかりつけていける早期入会特典を 9 日前後でお届けしますので、ご自宅で今から中学準備をスタートすることができます。

早期入会 受付サイト：https://chu.benesse.co.jp/new_chu1/

進研ゼミ『中学準備講座』1 月号の早期入会の受付期間は 9 月 1 日～11 月 30 日です。この期間に入会された方には、早期入会特典をお届けします。なお、1 月号は 1 月 25 日まで入会受付いたします。

中学好スタートのために、必ず身につけておくべき力 それが「絶対基礎力」

中学のテストに通用する 速く正確に解ける 計算力	中学英語で 最初からつまづかない 英単語力
中学に必要な 読み解く力につながる 漢字・語彙力	新しい中学生活の 心の準備 部活・友達



進研ゼミ『中学準備講座』の特長

中学の学習でつまづかないための「絶対基礎力」を固める

中学の英語、数学、国語の宿題や最初のテストから差がつく原因となりやすい「英単語力」「計算力」「漢字・語彙力」を楽しく集中してできるトレーニングで固め、「絶対基礎力」がつかます。その上で、小学校6年間の学習の総点検を個人別デジタル学習で完成し、小学校の学び残しゼロで中学校に入学できます。



友だち作りや部活など、中学生生活を充実させる準備もサポート

中学入学後の生活・人間関係面での不安解消や部活動を楽しむための情報をシリーズに分けてお届けします。「部活での先輩後輩関係」や「よい友だち作り」といったお子さまが気になるテーマも、先輩の体験談や会員同士で意見交換できる掲示板で不安解消のヒントが得られます。



※上記は『中学準備講座』1～3月号でお届けする教材の一部を抜粋してご紹介しております。※ご紹介した教材の詳細は Web にてご確認ください。

■ 9月1日より、中学準備応援サイト（無料）がスタート

今からできる「中学準備」コンテンツで、お子さまの中学入学への不安解消にお役立てください

小学6年生の多くのお子さま、保護者が、コロナ禍の中ならではの中学入学への不安を抱えていることを受け、進研ゼミでは、「中1ギャップ」でつまづかないための「絶対基礎力」体験や、中学準備に役立つ情報を提供する特設サイト、無料冊子をご用意いたしました。小学6年生と保護者の方に、お役立ていただければ幸いです。

特設サイト：https://chu.benesse.co.jp/lp/new_chu1/taiken2021/

① 中学準備ドリル

先行お届けサービスに含まれる「中学準備ドリル」の一部を無料ダウンロードでき、今すぐ基礎固めに取り組みます。

② ライブ授業録画

先生のわかりやすい授業で小学6年生の範囲を総復習できるライブ授業録画を無料公開します。

③ 保護者向け「中1ギャップ」情報冊子

「中1ギャップ」の内容・解消対策をご紹介。資料請求いただいた方に無料で差し上げます。



※9/10以降に資料請求した方にお届けします。

■『中学準備講座』商品責任者 山根 伊都子からのコメント

長引くコロナ禍によって、小学6年生は最高学年として下級生や学校行事をリードする経験が減り、自信をもって中学に入学していくことが難しい状況にあります。そうした小学6年生に自信をもって中学に入学してほしい！ということを第一に考え、中学入学後につまづかないための「絶対基礎力」をつける講座を開発いたしました。

新学習指導要領の施行で大きく変化しつつある中学での学びの基礎として、「英語・算数・国語」の基礎習得はもちろん、「友だち作りや部活」においても自信をもって中学入学できる中学準備講座をご用意しています。ぜひ、ご活用ください。